

春ノ十五表

唯今をかぎりとおもひてとし比の妻女に
あるべき事どもさま／＼にちぎれ共

此女房さらに返事なしさりとては

とどまるべき事ならねばこゝろづよくお

もひとりて年来へとしごろしりたりける嵯峨へさがの

奥へおくのひじりのもとへそのあかつきはしり

つきて出家へしゆつけをしけるこそあはれに心

ぼそくおほゆれひじりたちあつまりて

こはいかにと申ければ